

石綿含有建築材料の商品名と製造時期

2005年9月1日作成

2005年9月21日改訂

(社)日本石綿協会

主な石綿含有建築材料の商品名と製造時期について、当協会が調査した結果を以下に示します。各工業界を通じて調査しましたが、石綿含有建築材料は多様であるため、すべては網羅できていません。

表1 吹付け石綿

プロベスト、(は削除) サーモテックスA、 トムレックス、
リンペット、 ノザワコーベックス、 ハイワレックス、 スターレックス

注1) 昭和50年以降は施工していない。

注2) トムレックスは、吹付けを意味することで使用される場合があるので、昭和50年以降の設計図書に、この商品名がある場合は、石綿含有の有無の確認が必要である。

表2 石綿含有吹付けロックウール

スプレーテックス、 スプレース、 スプレイクラフト、 サーモテックス
ニッカウール(昭和62年12月大臣指定取り消し)、 プロベストR、 ハイワレックス
浅野ダイアロック(昭和50年10月大臣指定取り消し)、 ノザワコーベックス-R
アサノスプレーコート、 スターレックス(昭和57年7月大臣指定取り消し)
オパベストR、 バルカロック、 ベリーコート、 タイカレックス

注1) 昭和55年以前の施工でも、石綿を含有していない場合があるので、石綿含有の有無の確認が必要である。

注2) スプレーテックスのカラー品の極一部は、昭和62年まで石綿を含有していた可能性がある。

表3 湿式石綿含有吹付け材

トムウェット、 バルカーウェット、 プロベストウェット
アサノスプレーコートウェット

注1) 昭和63年以前の施工でも、石綿を含有していない場合があるので、石綿含有の有無の確認が必要である。

注2) アサノスプレーコートウェットは、少量だが平成元年まで石綿を含有していた。

表 4 耐火被覆板、断熱材

石綿含有耐火被覆板	トムボード	~ 1973
	プロベストボード	~ 1973
	リフライト	~ 1973
	サーモボード	~ 1973
	コーベックスマット	~ 1978
	サイネックス	~ 2000
石綿含有けい酸 カルシウム板第二種	キャスライトL	~ 1987
	キャスライトH	~ 1990
	ケイカライトL	~ 1987
	ケイカライト	~ 1987
	ダイアスライトE	~ 1990
	カルシライト1号	~ 1987
	カルシライト2号	~ 1987
	ソニックライト一号	~ 1987
	ソニックライト二号	~ 1987
	タイカライト1号	~ 1986
	タイカライト2号	~ 1987
	サーモボード	~ 1973
	ヒシライト	~ 1997
	ダイオライト	-
屋根用折版裏石綿断熱材	フェルトン	~ 1982
煙突用石綿断熱材	カポスタック	~ 1982
	コンバインボード	~ 1991
	ハイスタック	~ 1988

表 2.4 石綿含有保温材の製造期間等

保温材名	製造期間	日本工業規格
石綿保温材	1914 ~ 1980	旧 JIS A 9502
けいそう土保温材	1890 ~ 1955	旧 JIS A 9503
パーライト保温材	1961 ~ 1980	旧 JIS A 9512
石綿けい酸カルシウム保温材	1951 ~ 1980	旧 JIS A 9510

注) 表中に記載の製造期間以降の保温材は無石綿の保温材である。ただし、配管等の保温では、最終仕上げで、バルブ、フランジ、エルボ等の部分に塗り材を使用するが、この塗り材に昭和 63 年頃まで、石綿が含有している場合がある。

表5 石綿含有建築材料成形板

石綿含有建築材料		製造終了年		
一般名	商品名			
スレート波板	大波板 各品種	～2004		
	中波板 各品種	～2004		
	小波板 各品種	～2004		
	リブ波板 各品種	～2004		
	その他波板(超大波等) 各品種	～2004		
	役物 各品種	～2004		
スレートボード	フレキシブル板	ウベフレキシブルボード	～1997	
		浅野フレキシブルボード	～2000	
		朝日フレキシブルボード	～1987	
		アスクフレキシブルボード	～2000	
		A & Aフレキシブルボード	～2004	
		大嶽フレキシブルボード	～1987	
		フレキラF	～2001	
		F A ボード	～2000	
		F K ボード	～2002	
		ノザワフレキシブルシート	～2004	
		三菱フレキシブルボード	～2001	
		フジハイボード	～1983	
		平板	ウベ平板	～1997
			浅野パネルボード	～2000
朝日平板	～1987			
アスク平板	～2000			
A & Aパネルボード	～2002			
大嶽大平板	～1987			
フレキラS	～2000			
ノザワ平板	～1985			
三菱平板	～2001			
軟質板	ウベ軟質板	～1997		
	ライトボード	～2004		
	A S ボード	～2000		
	大嶽軟質板	～1987		
	フレキラN	～1980		
	ノザワアスベニア	～1980		
	三菱アスベストベニヤ	～1992		
軟質フレキシブル板	セットボード#101	～2000		

石綿含有建築材料		製造終了年
一般名	商品名	
スレートボード	浅野スタックボード	～1958
	浅野アスベストスラブ	～2000
	ハークルボード	～2000
	ガードパネル	～2004
	NKトップボード	～1982
けい酸カルシウム板 第一種	ハイラック	～1992
	アスベストン	～1992
	アスベストンF	～1991
	プライシリカ	～1992
	ハイベスト	～1994
	のき天ボード	～1992
	アスベストラックス	～1992
	アスファイヤー	～1976
	ケイカレックス	～1992
	ヒシラック	～1991
	ダイケンラックス	～1992
	パーライト板	浅野パーライトボード
スラグせっこう板	パブリード	～2001
	ジーエー	～1997
	バンバン	～1993
	アスレスボード	～2003
	エトリート	～1996
	サンワカルサイト	～2004
	サンワSGパネル	～2004
	ヘルシーボード	～2004
	エトリートエクセルボード	～2000
	エトリートエクセルデラックス	～2000
	エトリートエクセルエース	～2000
	エスジーボード	～2000
	NSボード	～2000
	SKボード	～2002
	パルプセメント板	NKボード
サンワボード		～2004
防火板		～1987
防火ボード		～2004
防火ライト		～2000

石綿含有建築材料		製造終了年
一般名	商品名	
パルプセメント板	アートライト	～2000
	フジハイ	～1989
	フジクリーンはるいた	～2000
	スーパーライトS	～1988
	新生ボード	～2003
	アサヒ防火板	～2000
窯業系サイディング	完璧	～1998
	ほんばん	～1988
	UBボード	～2004
	かべ一番	～2004
	ラムダ	～2004
	ラムダワイド	～2004
	エンボスサイディング	～1990
	ロイヤルサイディング	～1987
	TFサイディング	～2004
	ネオロック	～1992
	防火大建サイディング	～1980
	防火大建サイディング真打S	～1992
	防火大建サイディング真打G	～2002
	防火大建サイディング真打E	～2002
	マルチサイディング	～1997
	浦島シリーズ 型	～2002
	浦島シリーズ 型	～2002
	セラディング	～1992
	セラボード	～1992
	セラブリックベース	～1998
	ニチアスエンボスサイディング	～1990
	エクセリア	～1997
	ゴールドンモエンサイディング	～1980
	FRサイディング	～1990
	GRCセミックス	～1987
	押出成形セメント板	アスロック
メース		～2004

石綿含有建築材料		製造終了年
一般名	商品名	
住宅屋根用化粧スレート	カラーベストコロニアル	～2001
	フルベスト	～2003
	ニューウェーブ	～2004
	自在瓦	～2004
	ハイルーフ20DX	～2004
	ニューハイルーフ	～2004
	ヘキサー	～2004
	丸一金	～2004
	ハーモニー	～2004
	ヨーロッパダッハリーベ	～2004
	ヨーロッパダッハビバー	～1991
	ベルリーナベレー	～2000
	大和Y瓦	～2004
	ハイルーフデラックス	～2004
その他 (ボード)	NPラックス	～1992
	ラックスD	～1990
	アスラックス	～1991
	ホームタイル	～1991
	ホームラックス	～1992
	浅野エフジーボード	～1992
	ネオジーボード	～1994
	朝日耐火野地板	～1987
	アスク耐火野地板	～2000
	A & A耐火野地板	～2004
	NKトップボード	～1982
	ノザワタフベスト	～2004
	ノザワAC-FS	～2004
	ノザワハイバート	～2001
	ノザワハイバーム	～2004
	ノザワバームライト	～2001
ノザワバイタレックス	～2001	
その他 (パネル)	浅野インシュレーションパネル	～1990
	浅野エレクションボード	～1990
	浅野エレクションパネル	～1990
	浅野サーモニーパネル	～1979
	浅野制振パネル	～2000
	浅野スタッドレスパネル	～1991

石綿含有建築材料		製造終了年
一般名	商品名	
その他 (パネル)	朝日コルゲートインパネル	～1980
	朝日サーモニーパネル	～1979
	朝日耐火パネルM	～1987
	朝日耐火パネルW	～1987
	アスク耐火パネルM	～2000
	アスク耐火パネルW	～2000
	朝日フェザーパネル	～1987
	朝日エバーライトパネル	～1987
	朝日ダムパネル	～1987
	アスクダムパネル	～2000
	A & A M制振パネル	～2004
	浅野アモパネル	～2004
	耐火アモパネル	～2004
	耐火MRパネル	～2004
ニチアスパネル	～1992	
石綿セメント円筒	浅野煙突	～2004
	浅野耐火パイプ	～1988
	浅野換気用耐火パイプ	～1988
石綿含有ロックウール* 吸音天井板	ミネラートン	～1969
	ソーラトン	～1981
	ソーラトン軒天	～1982
	ソーラトン本実	～1987
	ダイロートン(不燃)	～1987
	ダイロートン(準不燃)	～1986
	ロッキー	～1985
	ロッキー彫り天等	～1985

*) 全てに石綿が含まれているとは限らない

なお、石綿含有吹付けロックウール、湿式石綿含有吹付け材及び石綿含有ロックウール吸音天井板については、ロックウール工業会のホームページ(<http://www.rwa.gr.jp/>)もご参照下さるようお願い致します。

また、(社)石膏ボード工業会(<http://www.gypsumboard-a.or.jp/>)及び各メーカーのホームページもご参照下さるようお願い致します。

以上

1. 石綿含有建築材料の商品名

建築物等の解体等において石綿を飛散させないために、石綿含有建築材料の調査が必要である。そこで、石綿含有建築材料の商品名をおよび使用箇所について調査を行った。調査にあたっては、(社)建築業協会、せんい強化セメント板協会、日本窯業外装材協会、(社)石膏ボード工業会、各メーカーの資料およびホームページを参考にした。しかし、アスベスト含有製品は非常に幅広く、さらにはメーカーの廃業等もあるため、すべては網羅できていないと考えられる。

建築物の各部位と一般的に使用される可能性がある石綿含有建築材料を表 1.1 に、石綿含有建築材料の商品名、石綿の種類、使用時期および使用量を表 1.2—1.5 に示す。

なお、商品によっては、同じ名称で無石綿製品を販売している場合があるので注意を要する。

表 1.1 石綿含有建築材料の使用部位別一覧表

使用部位	石綿含有建築材料の種類
内壁、天井	石綿含有スレートボード、石綿含有けい酸カルシウム板第一種 石綿含有パーライト板、石綿含有スラグせっこう板 石綿含有パルプセメント板、石綿含有ソフト巾木
内壁・天井の吸音・断熱	石綿含有ロックウール吸音天井板 吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール 石綿含有吹付けパーミキュライト、石綿含有吹付けパーライト
天井の結露防止	石綿含有屋根用折版裏断熱材
床	石綿含有ビニル床タイル、石綿含有フリーアクセスフロア材
外壁、軒天	石綿含有窯業系サイディング、石綿含有押出成形セメント板 石綿含有スレートボード、石綿含有スレート波板 石綿含有けい酸カルシウム板第一種
鉄骨の耐火被覆	吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール 石綿含有耐火被覆板、けい酸カルシウム板第二種
屋根	石綿含有スレート波板、石綿含有住宅屋根用化粧スレート
煙突	石綿セメント円筒、石綿含有煙突用断熱材

表 1.2 石綿含有建築材料の商品名 (吹付け材)

一般名	商品名 (型番・品番)	製造開始	製造終了	石綿含有率	石綿の種類	備考
吹付け石綿	プロベスト	1962	1971	60～70	青、茶	製造中止
	オパベスト	不明	1974	不明		製造中止
	サーモテックス A	1969	1975	60～70 (吸音断熱用), 50以上 (耐火用)	茶、白	製造中止
	トムレックス (クリソタイル, アモサイト)	1962	1974	耐火断熱用 60, 吸音用 70	青、茶	製造中止。トムレックスは吹付けの意味で使用される場合があるので, 1975以降の設計書にこの商品名がある場合は, 石綿含有の有無の確認が必要
	トムレックス (クロシドライト)	1962	1971	60	白	
	リンベツト	1959	1971	30～70	青、白	製造中止
	コーベックス (A)	1962	1975	55～70	白 (一部青)	製造中止
	ベリーコート	1971	1973	60%	白	製造中止
	ハイフレックス	不明	1974	不明		製造中止
	スターレックス	1965	1974	60～70	茶又は白	製造中止
	防湿モルベルト	不明	不明	不明		
石綿含有吹付けロックウール (半湿式・乾式)	スプレーテックス (耐火被覆)	1961	1975	12～20	白	1976～同名で無石棉化
	スプレーテックス (断熱内装)	1968	1979	2～15	白	1961～1975 15% 1975～1979 2～4%
	スプレーテックス (カラー品のみ)	1979	1987	2	白	1988～同名で無石棉化
	スプレエース (耐火)	1968	1977	4～14.5	白	1977/9～同名で無石棉化
	スプレエース (断熱原色)	1968	1977	4～12	白	1977/9～同名で無石棉化
	スプレエース (断熱着色)	1968	1978	4～12	白	1978/4～同名で無石棉化
	スプレクラフト S, H	1970	1974	30	茶又は白	1975～「スプレクラフト」として無石棉化
	サーモテックス	1961	1975	25	茶・白	
	サーモテックス	1976	1978	5%未満	茶・白	無石棉化で現在も製造中
	ニッカウール	1969	1980	30%未満		1987/12 大臣指定取り消し
	プロベスト R (タイプ A)	1971	1975	20～35	茶	1977～同名で無石棉化
	ヘーフレックス	不明	1980	不明		
	浅野ダイアロック	1971	1975	5%以上		1975/10 大臣指定取り消し・製造中止
	コーベックス (R)	1970	1980	3～4	白	製造中止
	スプレーコート	1971	1978	3～15	白 (青)	1979～同名で無石棉化
	スターレックス	不明	1974以前	5%未満		
	オパベスト R	1975	1978	0.04	白	1978/4～「オパベスト RX (半湿式)」として無石棉化
	バルカロック	1971	1975	5～20	白	1971～1974 20% 1975～1975 5% 1976～1995 同名で無石棉品を生産
	ベリーコート R	1973	1974	20～30	白	
	ベリーコート R	1974	1975	5～6	白	1977～1982 頃同名で無石棉化
タイカレックス	1978	1979	3%	白	1980～同名で無石棉化で製造	
石綿含有吹付けロックウール (湿式)	トムウエット / (ヨカベ)	1970	1987	1～5	白	1988 から同名で無石棉品を生産
	ATM-120	1978	1987	1～10	白	1988 無石棉化, 現在も製造・販売継続
	バルカーウエット	1973	1987	5以下	白	製造中止
	プロベストウエット	1972	1987	4.8	白	1988 以降無石棉化にて製造
	スプレーコートウエット	1973	1989	3～12	白	1990 以降無石棉化で製造, 現在も製造中
	スプレーウエット	1974	1987	4～5	白	1988 から同名で無石棉品を生産
	吹付けロックンライト	不明	不明	不明		
	サンウエット	1972 頃	1975 頃	不明	白	詳細不明

1. 石綿含有建築材料の商品名 113

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類	備考
内装壁材	ジュラックスB	1971	1985	0.7		S54/6 ~ S60 0.7% これ以前は特定できず S60 販売中止
化粧塗剤	ミネラックス	1964	1975	1 ~ 10	白	
石綿含有吹付け パーミキュライト	ゾノライト吸音プラスター	不明	不明	不明		
	モノコート	不明	1973	13		1992 以降無石綿化で製造
	パーミックスAP	不明	不明	不明		
	ミクライトAP	1965	1988	4.6 ~ 24.4		1988 ~ 1995 同名で 0% 製品を販売
	パーミライト	1967	1987	不明		1987 無石綿化, 現在も製造・販売継続
吹付け発泡けい酸 ソーダ	ヴォルキンP V F	不明	不明	7		
その他吹付け材等						
砂壁状吹付け材セメント系	ケニテックス	1963	1990	0.5 ~ 5.3	白	
ひる石プラスター	エコニー・キックス	1973	不明	5 以下		現在, 使用されていない

表 1.3 石綿含有建材の商品名 (保温材・断熱材・耐火被覆板)

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
石綿煙突用断熱材	カボスタック	1964	1977	70 ~ 80		茶併用	
	ニューカボスタック (断熱層部)	1977	1987	80 ~ 90		茶	ニューカボスタック (ライナー部 20 ~ 30%, 白) 1988 ~ 1991
	ハイスタック (丸型)	1978	1984	6.8		茶併用	
	ハイスタック (角型)	1978	1992	4.3 ~ 8.4		茶併用	
屋根用折版裏 石綿断熱材	フェルトン	1970	1982	90	○		
	ブルーフェルト	1958	1971	90		青併用	
	ウォールコートM折板用	1971	1989	39			
石綿含有けい酸 カルシウム板 第二種	ダイアスライトE	1969	1980		○		
	キャスライトH	1965	1990	10 ~ 20		茶	
	キャスライトL	1965	1987	10 ~ 20		茶	
	ケイカライト	1968	1986	5		茶	
	ケイカライトL	1971	1987	5	○	茶併用	
	カルシライト1号	1973	1987	1 ~ 27		茶	
	カルシライト2号	1973	1987	1 ~ 27		茶	
	ソニックライト一号	1969	1987	2 ~ 3		茶	
	ソニックライト二号	1969	1987	2 ~ 3		茶	
	タイカライト1号	1968	1986	3.9	○	茶併用	
	タイカライト2号	1968	1986	2.1	○	茶併用	
	タイカライトコラム	1978	1984	6.8		茶	
	サーモボードL	1983	1987	2 ~ 3	○	茶併用	
	ダイオライト						
	リフボード	1966	1983		○		
ミュージライト	1980	1986	3.9		茶		

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
石綿含有 耐火被覆板	トムボード	1969	1973	50		茶	
	コーベックスマット	1969	1978	70	○	茶併用	
	リフライト	1966	1983		○		
	プロベストボード	1968	1975	40		茶	
	サーモボード	1963	1973	25～30	○	茶併用	
石綿含有 けい酸カルシウム 保温材	シリカボード (#650 シリカ)	1952	1978	4～5		茶	1979 以降、無石綿化 にて製造
	シリカボード (#1000 シリカ)	1965	1978	6	○	茶	
	シリカカバー (#650 シリカ)	1952	1978	4～5		茶	
	シリカカバー (#1000 シリカ)	1965	1978	6	○	茶	1980/2 まで在庫出荷
	ダイパライト (カバー・ボード)	1976	1979	7～10		茶	
	インビパライト (カバー・ボード)	1977	1979	7		茶	
	エックスライト (ボード)	1965	1979	10	○	茶	
	ベストライト (カバー)	1960	1979	4.6		茶	
	ベストライト (ボード)	1965	1979	10	○	茶	1979 以降、無石綿化 にて製造
	ダイヤライト	1960	1978	3		茶	
	ダイヤライト L	1960	1978	3		茶	
シリカライト	1940	1980	1～25		茶	1979 無石綿化、し現 在も製造・販売	
スーパーテンプボード	1963	1979	5～10		茶		
石綿保温材	スポンジボード	1972	1978	不明	○	茶	設備機器、設備配管 用保温材
	スポンジカバー	1972	1978	不明	○	茶	
	カボサイト	1960	1979	80～100		茶	
石綿含有 けいそう土保温材	珪藻土保温材 1号	1964	1974	1～10		茶	
石綿含有 パーライト保温材	三井パーライト保温材	1965	1974	1.17		茶	2000 製造終了

表 1.4 石綿含有建築材料の商品名 (成形板)

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
石綿含有 スレートボード フレキシブル板	浅野フレキシブルボード	1958	2000	10～20	○	1978～1985 茶併用	
	朝日フレキシブルボード	1957	1987	10～20	○		
	アスクフレキシブルボード	1987	2000		○		
	A&Aフレキシブルボード	2000	2004		○		
	大嶽フレキシブル板	1971	1987		○		
	フレキラF	1966	2001		○		
	FAボード	1982	2000		○		
	FKボード	1986	2002		○		
	ノザワフレキシブルボード	1953	2004	15	○		
	三菱フレキシブルボード	1958	2001	12～25	○		
	山王フレキ	1989	2004	15	○		
	四国浅野フレキシブル板	1975	1980		○	1981～1983 茶併用	
	中越フレキシブルボード	1972	2003	7	○		
	ウベフレキシブルボード	1961	1997	10～15	○		
	富士ハイボード	1976	1977	4	○		
	マイティボード	1976	1989	10	○		
	ニューマイティボード	1981	1989	15	○		
	ディックハイフォン	1974	2004	10～15	○		
	スーパーライト	1978	1991	10～15	○		
	不燃サニー	1972	1992	10～15	○		
	山王カラーフレキ	1975	2004	15	○		
	ステンド# 300		2004	5～15			

1. 石綿含有建築材料の商品名 115

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
石綿含有 スレートボード 平板	浅野パネルボード	1935	2000	5以上	○	1978～1985 茶併用	
	朝日平板	1935	1987	6～15	○		
	アスク平板	1987	2000	6～15	○		
	A&Aパネルボード	2000	2002	6～15	○		
	大嶽大平板	1971	1987		○		
	フレキラS	1966	2000		○		
	ノザワ平板	1931	1985	約10	○		
	三菱平板	1958	1993	10～15	○		
	山王大平板	1989	2004		○		
	四国浅野平板	1971	2000		○	1981～1983 茶併用	
	中越大平板	1972	2003	5	○		
	ウベ平板	1961	1997	10～15	○		
石綿含有 スレートボード 軟質板	浅野ライトボード	1951	2000	10～15	○	1978～1985 茶併用	
	ASボード	1958	2000	10～15	○		
	大嶽軟質板	1971	1987		○		
	フレキラN	1966	1980		○		
	ノザワアスベニア	1955	1980	約10	○		
	三菱アスベストベニヤ	1958	1992		○		
	四国浅野軟質板	1971	1990		○	1981～1983 茶併用	
石綿含有 スレートボード 軟質フレキシブル板	朝日セットボード# 101	1972	1987		○		
	アスクセットボード# 101	1987	2000		○		
	ノザワハイバーム	1973	2004	約15	○		
	ノザワバームライト	1971	2001	約20	○		
石綿含有 スレートボード その他	浅野スタックボード	1953	1958		○		
	浅野アスベストスラブ	1958	2000		○	1978～1985 茶併用	
	ハークルボード	1968	2000		○		
	朝日ガードパネル	1973	1987		○		
	アスクガードパネル	1987	2000		○		
	A&Aガードパネル	2000	2004		○		
	NKトップボード	1975	1982		○		
	ノダ準不燃“不動”	1972	1983	15～20	○		
	AC-FS	1986	2004	約22	○		
	ハイパート	1998	2001	約22	○		
	タフベスト	1981	2004	約15	○		
	バイタレックス	1985	2001	約15	○		
	ネオジボード		1994		○		
	朝日耐火野地板		1987		○		
	アスク耐火野地板		2000		○		
	A&A耐火野地板		2004		○		
	パラベットガード用PGボード	1993	2001				
	VMライト	1969	1974				ひる石石綿セメント板
	不燃壁	1988	1999		○		
	カラーフレキラ	1971	2002		○		
ビニスレート	1976	1988		○			
アートタイル	1987	2002		○			
石綿含有 スラグせっこう板	エクセルボード	1979	2000	2.5～3	○		
	エクセルボード	1979	1993	1.8		茶	
	エクセルボード	1993	2000	2.35～2.5	○		
	NSボード	1996	2000	2.35	○		
	カバスター DX	1982	2000	15	○		
	カバスター SP	1983	1992	4	○		
	エスジーボード	1987	1999	5	○		
	カバタイル	1984	1995	5	○		台所・洗面用
	ジーエー	1980	1997	12	○		

一般名	商品名(型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類(白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	バブリード		2001				
	バンバン		1993				
	アスレスボード		2003				
	エトリート	1984	1996	10～15	○		
	サンワカルサイト	1983	2004	3～4	○		
	サンワSGパネル	1983	2004	3～4	○		
	ヘルシーボード		2004				
	エトリートエクセルボード		2000				
	エトリートエクセルデラックス		2000				
	エトリートエクセルエース		2000				
	S Kボード		2002				
	四国浅野 SGI	1995	2000				
石綿含有 パルプセメント板	フジハイ	1975	1992	5	○		
	フジハイ耐水板	1975	1989	5	○		
	フジクリーンはふいた	1992	2000	15	○		
	防火ライト	1958	2000	3	○		
	N Kボード		1977				
	サンワボード	1961	2004	5～7	○		
	防火板		1987				
	防火ボード		2004				
	アートライト		2000				
	スーパーライト	1978	1991				
	新生ボード		2003				
	アサヒ防火板		2000				
	F Aボード	1984	2003	4	○		
	パルプセメント板	1972	1998	2～7			
石綿含有けい酸 カルシウム板 第一種	浅野ハイラック	1971	1979	3～20	○	1980～1987茶併用	
	浅野ハイラック(特注品)	1992	2000	3～20	○		
	ハイラック(特注品)	2000	2002	3～20	○		
	アスベストン	1969	1992	3～20	○	1978～1992茶併用	
	アスベストンF	1975	1992	3～20	○	1980～1992茶併用	
	ブライシリカ		1992		○		
	ハイベスト	1989	2000		○		
	中越ケイカル板(ボード)	1989	1998	10～15	○		
	中越ラックス	1989	1998		○		
	のき天ボード	1982	1992	10～20	○		
	アスベストラックス(ニチアスラックス)	1960	1992	10～20	○		
	NPラックス	1974	1992	10～20	○		
	ラックスD	1978	1990	5～15	○		
	アスラックス	1977	1991	10～20	○		
	ホームタイル	1983	1991	10～20	○		
	ホームラックス	1972	1992	10～20	○		
	アスファイヤー	1974	1976		○		
	ケイカレックス	1985	1992	10	○		
	ヒシラック#70	1972	1992	10～15	○	1972～1992一部茶併用	
	ヒシラック#100	1972	1997	10～15	○		
	ヒシライト	1977	1997	5～10	○	1977～1993一部茶併用	
	ファステン	1986	1997		○		
	カベタイル	1988	1997	15	○		システムバス用
	ラックス	1972	1991	15以下	○		
	カベサイトF-不燃	1978	1991	15以下	○		
	カベサイトL	1976	1982	15以下	○		
	カベサイトM	1986	1991	5以下	○		

1. 石綿含有建築材料の商品名 117

一般名	商品名(型番・品番)	製造開始	製造終了	石綿含有率	石綿の種類(白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	防火軒天井ボード	1978	2002	5以下	○		
	防火破風板・不燃構造材	1985	2002	5以下	○		
	ノダ不燃“火の守”	1979	1981	10	○		
	ノダ不燃“火の守ライト”	1981	1985	10	○		
	ノダ不燃軒天	1982	1987	10	○		
	アイカーフネン	1974	1995	3～20	○		
	アスベストラックス(孔あき板)	1960	1992	10～20	○		
	アスベストラックス(貫通板)	1960	1992	10～20	○		
	アストップ	1970	1975	60～70	○		
	ニチアスパネルL, S	1960	1992	10～20	○		
	防火のき天	1987	1990	5～15	○		
	ATグラサル	1973	1999	11～13			
	カルシライト	1973	1987	10			
	ニューマイティーボード	1981	1989	15	○		
	ディックフネン	1973	1993	9～13	○		
	ディックフネンS	1986	1994	9～13	○		
	石綿含有 石膏ボード	不燃シルク	1971	1986	1.5	○	
プラストーンエース		1971	1986	1.5	○		
エースボード		1971	1986	1.5	○		
不燃タイガーボード9		1972	1986	1.5	○		表面側にアスベスト含有紙を使用
不燃ジプトーン		1972	1986	1.5	○		
不燃マーブルトーン		1972	1986	1.5	○		
準不燃タイガートーン		1970	1984	1	○		裏面にアスベスト含有紙使用
ニュータイガートーン		1975	1984	1	○		
(ガラス繊維網入り石膏ボード)		1976	1986	4.5	○		商品名はないので製品区分で表示、耐火ウォールA及びB専用
9mm厚アスベスト石膏積層板		1979	1985		○		
シャイン		1977	1981		○		天井板、表面印刷塗料にアスベストを混合
マイルド		1977	1981		○		
タイガー不燃1号		1971	1985	4			
タイガー不燃2号		1971	1985	4			
9mm厚化粧石膏吸音ボード		1970	1986	1			
9mm厚不燃紙貼り吸音ボード		1970	1986	1			
9mm厚グラスウール石膏積層板		1970	1986	1.5			
7mm厚準不燃アスベスト石膏積層板	1970	1986	1.5				
石綿含有 その他製品 ボード	カベスターDX	1982	2000	15			
	エフジーボード	1977	1992	4.5	○		繊維補強石膏板
	ネオジーボード	1985	1994		○		
	カベロック	1971	1985	2	○		
	断熱カベモード防火	1982	1986	2	○		岩綿系壁ボード
	ダイロック	1976	1986	2～3	○		
	オトカベ	1985	1986	2	○		
	カベタイル・台所・洗面用	1984	1995	5	○		
	カベタイル・システムバス用壁材	1988	1997	15	○		
	石綿含有 その他製品 パネル	浅野インシュレーションパネル	1956	1990	10～20	○	
浅野エレクトロンボード		1956	1963	10～20	○		
浅野エレクトロンパネル		1963	1968	10～20	○		
浅野サーモニーパネル		1967	1979	10～20	○		
浅野制振パネル		1982	2000	10～20	○	1982～1985茶併用	
浅野スタッドレスパネル		1987	1990	10～20	○		
朝日コルゲートインパネル		1966	1980	4.5	○		
朝日サーモニーパネル		1966	1979	10～20	○		
朝日耐火パネルM		1967	1987	10～20	○		
朝日耐火パネルW		1967	1987	10～20	○		

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	アスク耐火パネルM	1987	2000	10～20	○		
	アスク耐火パネルW	1987	2000	10～20	○		
	朝日フェザーパネル	1967	1987	10～20	○		
	朝日エバラーライトパネル	1977	1987	10～20	○		
	朝日ダムパネル	1977	1987	10～20	○		
	アスクフェザーパネル	1987	2000	10～20	○		
	アスクエバラーライトパネル	1987	2000	10～20	○		
	アスクダムパネル	1987	2000	10～20	○		
	A&A制振パネル	2000	2004	10～20	○		
	浅野アモパネル	1968	2000	10～20	○	1978～1985 茶併用	
	耐火アモパネル	2000	2004	10～20	○		
	耐火MRパネル	2000	2004	10～20	○		
	ニチアスパネル	1960	1992				
	ウベサンドイッチパネル	1970	2004	1～5			
	ユニオンボード	1953		10～20			
	山王サンドイッチ板	1968	2004	10～20			
	モクモウインシュライト	1953	2004	15			
	サンドイッチインシュライト	1953	2004	15			
	スタイロフォームインシュライト	1953	2004	15			
	タイルハンガー	1992	1996	9.5			乾式タイル掛け用パネル
石綿含有 スレート波板 大波板	浅野大波スレート	1936	2000	6～15	○	1970～1974 青併用 1975～1982 青・茶 併用 1983～1986 茶併用	
	朝日大波スレート	1953	1987	6～15	○		
	アスク大波スレート	1987	2000	6～15	○		
	A&A大波板	2000	2004	6	○		
	大嶽大波スレート	1971	2003		○		
	四国浅野大波板	1971	2004		○	1974～1982 青併用	
	第一大波板	1940	1981		○		
	東京大波板	1955	2004		○		
	ノザワ大波	1931	2004	10	○		
	三菱大波板	1957	2003	10	○		
	三菱大波スレート	1962	2004		○		
	大和大波スレート	1969	2004	7～10	○		
	横浜大波板	1970	1998		○		
	ウベ大波スレート	1950	2004	10～13	○		
	東洋大波スレート	1955	1982	10～13	○		
	波形スレート	1953	2000	10			
	ウベストロングスレート	1967	2004	10～13			
	波形スレート大波	1974	2001	5以上			
	ダインスレート大波	1974	2001	5以上			
	スタック波板	1954	2000	6～15	○		
	アスクパワースレート	1987	2000	6～15	○		
	パワースレート	2000	2004	6	○		
	ハイトップスレート大波		1982	12～13			
	ウベカラー (カラー品)	1960	2004	10～13			
	波形スレート大波 (カラー品)	1960	2001	5以上			
	ダインスレート大波 (カラー品)	1960	2001	5以上			
	浅野大波板 (カラー品)	1936	2000	6～15	○		
	スタック波板 (カラー品)	1954	2000	6～15	○		
	朝日波形スレート (カラー品)	1953	1987	6～15	○		
	アスク大波スレート (カラー品)	1987	2000	6～15	○		
	アスクパワースレート (カラー品)	1987	2000	6～15	○		
	A&A大波板 (カラー品)	2000	2004	6	○		

1. 石綿含有建築材料の商品名 119

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	パワースレート (カラー品)	2000	2004	6	○		
	波形スレート大波 (カラー品)		1982	12～13			
	ハイトップスレート大波 (カラー品)		1982	12～13			
	ステンド# 300 波板 (カラー品)		2004	5～20			
石綿含有 スレート波板 小波板	浅野小波スレート	1917	1969	6～15	○	1970～1974 青併用 1975～1982 青・茶 併用 1983～1986 茶併用	
	朝日小波スレート	1935	1987	6～15	○		
	アスク小波スレート	1987	2000	6～15	○		
	A & A 小波板	2000	2004	6	○		
	大嶽小波スレート	1971	2003		○		
	四国浅野小波板	1971	1973		○	1974～1982 青併用	
	第一小波板	1940	1981		○		
	東京小波板	1955	2004		○		
	ノザワ小波	1931	2004	10	○		
	三菱小波板	1957	2003	約10	○		
	三重小波スレート	1962	2004		○		
	大和小波スレート	1969	2004	7～10	○		
	横浜小波板	1970	1998		○		
	ウベ小波スレート	1950	2004	10～13	○		
	東洋小波スレート		1982	10～13	○		
	波形スレート	1953	2000	10	○		
	波形スレート小波	1938	2001	5以上			
	ダインスレート小波	1938	2001	5以上			
	波形スレート小波 (カラー品)	1960	2001	5以上			
	ダインスレート小波 (カラー品)	1960	2001	5以上			
	浅野小波板 (カラー品)	1918	2000	6～15	○		
	朝日波形スレート (カラー品)	1935	1987	6～15	○		
	アスク小波スレート (カラー品)	1987	2000	6～15	○		
A & A 小波板 (カラー品)	2000	2004	6	○			
石綿含有 スレート波板 リップ波板	ノザワサイディング	1978	2002	約10	○		
	三菱リップ壁板	1957	2003	10～20	○		
石綿含有 スレート波板 超大波板	ルーフワイド	1975	2004	6～15	○	1975～1982 青・茶 併用 1983～1986 茶併用	
	朝日エスルーフ	1982	1987	6～15	○		
	アスクエスルーフ	1987	2000	6～15	○		
	エスルーフ	1981	1994	10	○		
石綿含有 スレート波板 中波板	ノザワ中波	1962	1999		○		
石綿含有 スレート波板 その他の波板	サイディングワイド	1974	2004	6～15	○	1974～1975 青併用 1975～1982 青・茶 併用 1983～1986 茶併用	
	朝日リップウォール	1980	1987	6～15	○		
	アスクリップウォール	1987	2000	6～15	○		
	舟形スレート	1964	1977	6～15	○	1970～1974 青併用 1975～1977 青・茶 併用	
	朝日フレキシブルスレート	1957	1987		○		
	アスクフレキシブルスレート	1987	2000		○		
	A & A フレキシブル波板	2000	2004		○		

一般名	商品名(型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類(白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	大嶽波形サイディング	1981	2002			○	
	ウベサイディング	1979	2004	10～13		○	
	東洋トップスレート		1982	10～13		○	
	サイディングエース	1980	2004	7～10		○	
	超大波スレートP-6	1995	2002	7～10		○	
	ウベスチレート	1967	2004	10～13			
	ウベラックスレート	1970	2004	10～13			
	ルーフワイド(カラー品)	1976	2004	6～15		○	
	朝日エスルーフ(カラー品)	1982	1987	6～15		○	
	アスクエスルーフ(カラー品)	1987	2000	6～15		○	
石綿含有窯業 サイディング材	完璧	1979	1998	4.5～8		○	
	かべ一番	1978	2004	4		○	
	ラムダワイド		2004			○	
	エンボスサイディング	1976	1993	5～15		○	
	ロイヤルサイディング	1972	1976	15		○	
	カラーベストシングル	1960	1978	16～22		○	
	カラーシート	1961	1976	16～22		○	
	カラートップ	1963	1984	16～22		○	
	梨地シート	1965	1977	16～22		○	
	不燃サイディング	1967	1977	5～10		○	
	パーマトン	1971	1993	5～15		○	
	防火サイディング	1977	1995	2～8		○	
	レックストン	1978	1984	15		○	
	カラーベストニューシングル	1978	1989	16～22		○	
	セラシティー	1985	1992	5～7		○	
	セラロック60mm	1987	1992	5		○	
	セラディール	1987	1992	5		○	
	TFサイディング	1955	2004				
	ネオロック25mm及び同質役物	1988	1993	5		○	
	ネオロック21mm及び同質役物	1988	1993	5		○	
	DMサイディング及び同質役物	1987	1995	5		○	
	ベルマティエ25mm及び同質役物	1988	1993	5		○	
	ベルマティエ21mm及び同質役物	1988	1993	5		○	
	マルチサイディング横張りタイプの内「RV****」の品番のもの及び同質役物	1986	2000	4		○	
	マルチサイディング縦張りタイプの内「RV****」の品番のもの及び同質役物	1986	2000	4		○	
	マルチサイディング		1997				
	浦島シリーズI型		2002				
	浦島シリーズII型		2002				
	ニチアスエンボスサイディング	1974	1990	5～15			
	エクセリア	1991	1997	2			
	FRサイディング		1990				
	GRCセラミックス		1987				
	ダイケン防火サイディング	1976	1978	5～10		○	茶併用
	防火ダイケンサイディング	1979	1984	3～5		○	茶併用
	真打S/防火軒天井ボードS	1981	1992	3～5		○	1981～1991 茶併用
	真打G/防火軒天井ボードG	1992	2002	5以下		○	
	真打E/防火軒天井ボードE	1984	2002	5以下		○	
	ゴールドンモエンサイディング	1974	1981	8		○	
	ノダ不燃軒天	1982	1987	10			
	ミューベル	1986	1989	2			
	ネオミュール	1989	1990	5			
	彩壁	1990	1998	約2			

1. 石綿含有建築材料の商品名 121

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	彩ブリック	1990	1998	約 2			タイル下地材
	軒天ボード	1990	1998	約 2			
	UB ボード 12	1986	2004	4	○		柄により石綿含有時 期及び量が異なる
	UB ボード 16	1997	2003	4	○		
	UB ボード軒天 (平板, 有孔板)	2000	2004	4	○		
	UB 耐火野地板	2000	2003	4	○		
	克蘭セリート	1989	2002		○		
	ラムダ	1978	2004	10	○		薄物 15 ~ 26mm
	ラムダ II G 品	1997	2000	18	○		厚物 50 ~ 65mm
	ほんばん	1981	1989	4.95	○		自社生産
	ほんばん	1994	1997	4	○		OEM
	セラディング	1987	1989	5	○		
	セラボード	1989	1989	5	○		
	セラミックウォール S シリーズ	1997	2002	4	○		
	セラブリックベース	1989	1998	3 ~ 4	○		自社生産
	セラブリックベース	1987	2001	20 以下	○		OEM
	セラブリックベース	1998	2000	9	○		OSM
	グラサル	1973	1996		○		
	ゴールデンモエンサイディング	1974	1981	8	○	茶併用	
	セミックス	1984	1988		○		
	エフクリート	1977	1999		○		
	ノダ耐火サイディング "仁王"	1975	1984	10	○		
	ノダセラミックサイディング	1988	1990	4.5	○		
	スーパーサイディング	1978	2004	4			
	スーパーハーディサイディング	1976	2002	5			
	タフサイディング	1979	2004	1 ~ 5			
	ノザワサイディング	1978	2002	10			
	デコモール	1988	2000	3	○		
	サニーサイディング	1987	1991				
	石綿含有窯業 サイディング材 屋根下地材	レアフォーム	1974	2001	2 以下		
ケイカレックス		1985	1992	約 10			
朝日耐火野地板			1987	4	○		
アスク耐火野地板		1987	2000	4	○		
A & A 耐火野地板		2000	2004	4	○		
UB 耐火野地板		2000	2003	4			
野地板	1984	1992	12 ~ 15	○			
石綿含有窯業 サイディング材 軒天井	のき天ボード	1981	1982	10 ~ 20	○	茶併用	
	防火のき天	1987	1990	5 ~ 15	○	茶併用	
	防火軒天井ボード	1978	1995	5 以下	○	茶併用	
	防火軒天井ボード	1996	2002	1 以下	○		
石綿含有住宅屋根 化粧スレート	カラーベスト (900)	1961	2001	5 ~ 25	○		柄により石綿含有時 期及び量が異なる
	カラーベスト (600)	1982	1994	5 ~ 15	○		
	フルベスト (900)	1971	2003	15 以下	○		
	フルベスト (600)	1978	2003	15 以下	○		
	フルセラム	1986	2001	15 以下	○		
	ニューウェーブ	1983	2003	10 ~ 15	○		波形スレート
	ニューウェーブ II	1994	2003	5 ~ 10	○		波形スレート
	自在瓦	1986	2004	10 ~ 12	○		
	ハイルーフ 20DX	1996	2004	4 ~ 6	○		
	ニューハイルーフ	1983	2004	4 ~ 6	○		
	ヘキサー	1999	2004	4 ~ 6	○		
	丸一金		2004				
	ハーモニー	1980	2004	7 ~ 10	○		
	ヨーロッパダッハリーベ	1983	2004	4 ~ 6	○		
	ヨーロッパダッハビーバー	1984	1991	4 ~ 6	○		

一般名	商品名(型番・品番)	製造開始	製造終了	石綿含有率	石綿の種類(白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	ベルリーナペレー	1994	2000	10～12	○		
	大和Y瓦		2004		○		
	ハイルーフデラックス	1996	2004	4～6	○		
	ハイルーフ	1973	2004	4～6	○		
	大和瓦(波瓦)	1986	2003	10～12	○		
	トヨベスト	1975	1980				
	トヨかわら 55	1996	2002				
	ダイケンかわら	1975	1982	10	○		
	セキスイかわらU	1975	1990	10～14	○		
	U瓦, CITY瓦	1975	1990	約10	○		
	UB瓦	1996	1998	10～13	○		
石綿含有住宅屋根 用化粧スレート 屋根役物	カラーベストシリーズ同質役物	1978	1988	10～15			ハイリッジ
	カラーベストシリーズ同質役物	1988	2001	15			軒先同質役物
	ニューウエーブ用同質役物	1983	2003	10～15			面戸瓦, 急勾配用棟瓦, 片流れ用棟瓦
	ニューウエーブII用同質役物	1994	2003	5～10			和風用面戸瓦, 半瓦
	ニューウエーブ波型スレート用同質役物	1994	2003	5～10			洋風用面戸瓦, 半瓦, 片流れ用棟瓦
石綿含有押出成形 セメント板	アスロック	1970	2004	10	○		
	アスロックL	1988	1995	約4	○		
	メース		2004		○		
	メースFA	1989	1995	5未満	○		
	防火破風板・不燃造作材	1985	1995	5以下	○		
	ベルダ	1990	2000	4～5			
	ファッションボーダー	1997	2004	5			FX12, FX18, FZ12, FZ18
	フジクリーンはふいた	1992	2000	9.5			破風幕板兼用外装材
石綿含有ロック ウール吸音天井材	ソーラトン	1971	1981	4	○		
	ソーラトン軒天	1975	1982	1～5	○		
	ソーラトン本実	1976	1987	3～4	○		
	ミネラートン	1968	1969	2	○		
	ダイロートン不燃	1964	1987	1～4	○		
	ダイロートン準不燃	1977	1986	1～4	○		
	ロッキー	1973	1985	3	○		
	彫り天	1973	1985	3	○		
	和風天	1980	1985	3	○		
	音場天	1980	1985	3	○		
	輸出用ダイロートン	1969	1986	1～4	○		
	ダイロートンEX	1985	1986	1～4	○		
	オトテン	1980	1986	1～4	○		
彫り壁	1980	1985	3	○			
石綿含有 耐火間仕切材	スタンドレスパネル	1987	1990	4.5	○		
	キックス	1976	1981	5～10			
	SPS60	1957	1979	4～15			乾式内装用
石綿含有 ビニル床タイル	ニットータイル	1960	1986	5～10	○		
	ニットータイル(スルーチップタイプ)	1976	1987	12	○		
	ニットータイル(耐酸タイル)	1968	1986	10～15		トレモライト	
	アスファルトタイル	1952	1970	45～50	○		
	プラスタイル(R, M, テラゾー, Q)	1953	1976	15～40	○		
	マチスタイル	1954	1970	40	○		
	Pタイル, Mタイル	1955	1986	3～15	○		
	ソフトン	1960	1979	10～20	○		
	フロントタイル(輸入品)	1972	1975	15推定	○		
	フロントタイル(RE・面取タイル・クラフトI/II)	1972	1986	8	○		

1. 石綿含有建築材料の商品名 123

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率	石綿の種類 (白石綿)		備考
					白石綿	その他	
	フリントタイル (SR・クラフトⅢ)	1979	1985	8	○		
	トラバーチン・ファインスレート	1975	1986	8	○		
	ピサロン・ピサロンツイード	1969	1986	7	○		
	ピサロンカジュアル	1980	1984	7	○		
	コンダクティブタイル (コンタイル)	1970	1986	6～15	○		
	コンマルチタイル	1978	1986	6～15	○		
	モンドリアン	1976	1978	7	○		
	バステラル	1983	1986		○		
	耐酸, 耐油, 耐熱タイル	1959	1986	5～50	○		
	シャトラン	1970	1980		○		
	アスファルトタイル (マチコAソフト)	1963	1973	20	○		
	マチコV	1963	1985	4.7	○		
	マチコソフト	1965	1985	5	○		
	マチコJソフト	1965	1985	5	○		
	マチコ スルーチップ系統	1965	1985	5	○		スルーチップ, ミニ, バステル, ロイヤル
	ビニラートタイル	1957	1967	23	○		
	ソブラ	1975	1985	5	○		
	トラバーチン	1975	1985	5	○		
	帯電防止タイル	1969	1985	7.7	○		
	マチコフリータイル	1969	1985	7.7	○		
	耐酸タイル	1963	1972	8	○		
	マチコサントイル	1963	1972	8	○		
	GAF タイル	1973	1975		○		
	ロンタイルH	1962	1965	10	○		
	ロンタイルa	1965	1972	10	○		
	導電性タイル8	1967	1972	10	○		
	ポリマーブルシリーズ	1961	1986	4～11	○		
	スプラッター	1961	1986	4～11	○		
	SR ハイソフト	1961	1986	4～11	○		
	耐酸タイル	1968	1984	4～11			
	耐酸タイル	1979	1986	4～11			
	帯電防止タイル	1968	1984	4～11			
	アームストロングタイル		1982				
石綿含有 その他床材 ビニールシート	CF シート H・P	1972	1983	36	○		
	SF フロアマーブル	1980	1985	5	○		
	サーカンスフロアマーブル・ブレン	1984	1988	5	○		
	GAF シート	1971	1981	43	○		
	AC フロア	1974	1986	3～5	○		
	フクビリューム	1974	1987	約 19～28	○		
	フクビリューム重歩行	1978	1989	約15	○		
	アームストロング 長尺シート		1984				
	サンゲツフロア	1989	1990	15	○		
石綿含有 その他床材 クッションフロア	マニントン (輸入品)	1972	1980				
	ボンリユーム	1972	1985	約30	○		
	サンゲツフロア MM	1979	1988	23～24	○		住宅用
	サンゲツフロア CM	1979	1988	15～32	○		店舗用
	アートルリューム・アートグランデ	1973	1984	約23	○		
	クッションフロア CH・C (輸入品)	1973	1978		○		裏紙に石綿紙
石綿含有 その他床材 けい酸カルシウム 床材	アスベストフロア (ニチアスフロア)	1966	1988	15～25	○		
	シグマフロア	1984	1988	15～25	○		
	プランニングフロア	1988	1992	10	○		
	ファステン	1984	1991	15～25			

石綿含有その他 床材 巾木	ビニラート床木	1960	1966		○		
石綿含有 セメント円筒	浅野煙突	1960	2004		○		
	浅野耐火パイプ	1981	1988		○		
	浅野換気用耐火パイプ	1981	1988		○		
	コンバインボード	1981	1991	10～30			
	ニューカボスタック (ライナー部)	1988	1991	20～30	○		

表 1.5 石綿含有建築材料の商品名 (別表)

一般名	商品名 (型番・品番)	製造 開始	製造 終了	石綿 含有率
カラーベスト (900)	コロニアル	1961	1986	10～25
	ニューコロニアル	1979	2001	10～15
	かわら 27	1975	1988	15～20
	F-800	1975	1977	10～25
	ランバート	1988	1994	10～15
	ニューランバート	1995	2001	10～15
	ミュータス	1988	1994	10～15
	ニューミュータス	1995	2001	10～15
	セイバリー	1996	2001	10
	スペリアル	1996	2001	10
	アスコット	1994	2001	10～15
グリシェイド	1996	2001	10～15	
カラーベスト (600)	アーバニー	1982	1994	5～15
	ジュネス 1	1991	1994	5～10
	ジュネス 2	1991	1994	5～10
フルベスト (900)	フルベスト 16	1971	1978	10～15
	フルベスト 20	1988	2003	15以下
	フルベスト・リード	1994	2000	10以下
	フルベスト・リード DX	1996	2000	10以下
	フルベスト・リード II	1995	2002	10以下
	フルベスト・リードストライプ	1995	2002	10以下
	アレナ・ウーノ	1999	2002	5以下
	アレナ・トレス	1999	2002	5以下
フルベスト (600)	フルベスト 24-05	1978	1982	10～15
	フルベスト 24-10	1978	1987	10～15
	フルベストエース	1979	1987	10～15
	フルベスト 24-10 エース	1981	1987	5～10
	ニューフルベスト 24	1987	1999	5～15
	ニューフルベスト 24 エース	1987	1994	5～15
	ツインアート	1986	1991	10～15
	フルベストリード 24	1997	1999	
	エバンナ	1989	2003	15以下
	アルデージュ	1989	2003	15以下
	アルデージュ・シンプル	1992	2003	15以下
フルセラム	玄晶 I	1986	2001	15以下
	玄晶 II	1986	2001	15以下
	ヒシ	1986	2001	15以下
	うろこ	1986	2001	15以下
UBボード 12	フラット 溝なし	1986	2004	4
	フラット 2本溝	1986	2004	4
	フラット 縦張	1986	2004	4
	フラット 3×10板	1986	2004	4
	スタック調 溝なし	1986	2003	4
	スタック調 2本溝	1986	2003	4
	スタック調 縦張	1986	2003	4
	小スタック調	1995	2003	4

1. 石綿含有建築材料の商品名 125

	石紗	2001	2003	4
	DX タイル	2002	2003	4
	秀石	2002	2003	4
	きざみ石	2000	2003	4
	きりいし	1998	2003	4
	くみいし	1998	2003	4
	小割石	1999	2003	4
	巧石	2001	2003	4
	タイル調	1996	2003	4
	レンガ調	1996	2003	4
	シプロ レンガ調	2000	2003	4
	シプロ タイル調	2000	2003	4
	シプロ きりいし	2001	2003	4
	シプロ スタッコ調	2000	2003	4
UBボード16	砂岩	1997	2003	4
	彩石	1998	2003	4
	割石調	1994	2003	4
	フラット	1998	2003	4
	レンガ調	1994	2002	4
	ライロック	1997	2002	4
	レンガくしめ	1998	2001	4
UBボード軒天	フラット	2000	2004	4
	小スタッコ	2000	2002	4
	フラット (有孔板)	2000	2004	4
	小スタッコ (有孔板)	2000	2002	4

2. 建築物の解体・改修作業に係る石綿分析方法

2.1 はじめに

平成16年10月1日から石綿含有の建材や摩擦材、接着剤等について石綿含有率が1質量%を超える製品の輸入、製造または使用が禁止され、また、平成17年7月1日に「石綿障害予防規則」が施行され、石綿含有製品の的確な管理とともに、石綿含有建材が使用されている建築物の解体・改修作業についてもより厳格な管理が必要となった。さらに、平成18年8月2日に「労働安全衛生法施行令」及び「石綿障害予防規則」の一部が改正され、9月1日から、これら法令に基づく規制の対象となる物の石綿の含有率（重量比）が1%から0.1%に改められたことから、同日後は石綿等がその重量の0.1%を超えて含有するか否かについて分析を行うことが必要となった。

現在までに、わが国で規定されてきた石綿含有率の測定手法には、①「ベビーパウダーに用いられるタルク中のアスベスト試験法」（昭和62年11月6日付、薬審2第1589号別紙）、②「建築物の耐火等吹付け材の石綿含有率の判定方法について」（平成8年3月29日付、労働省通達基発第188号）、③「蛇紋岩系左官用モルタル混和材による石綿ばく露の防止について」（平成16年7月2日付、厚生労働省通達基発第0702003号）、④「建材中の石綿含有率の分析方法について」（平成17年6月22日付、厚生労働省通達基安化発第0622001号）、⑤JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」（平成18年3月25日に制定）があるが、平成18年8月22日の厚生労働省通達（基発第0821002号及び基安化発第0821001号）により、石綿障害予防規則第3条第2項の規定による石綿等の使用の有無の分析についてはJIS A 1481によるものとし、②の基発第188号通達及び、④の基安化発第0622001号は廃止された。

また、法改正により、石綿等がその重量の0.1%を超えて含有するか否かについて分析を行うことが必要となったが、JIS法では、石綿を「不純物として含有するおそれのある天然鉱物及びそれを原料としてできた製品については適用しない」とされていることから、石綿を不純物として含有するおそれのある天然鉱物を粉碎し、原料として使用する場合における石綿含有率の分析方法として、平成18年8月28日に厚生労働省から、⑥「天然鉱物中の石綿含有率の分析方法について」（基安化発第0828001号）が示された。

2.2 分析対象の石綿の定義

平成18年8月11日の厚生労働省通達（基発第0811002号）で「石綿とは、繊維状を呈しているアクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト及びトレモライトをいうこと」と定義されており、分析対象の石綿は、岩石を形成する鉱物のうち、蛇紋石の群に属する繊維状のけい酸塩鉱物のクリソタイル（白石綿）及び角閃石の群に属する繊維状のけい酸塩鉱物のアクチノライト、アモサイト（茶石綿、カミングトン－グリュエネル

閃石), アンソフィライト, クロシドライト (青石綿), トレモライトで, アスペクト比 3 以上のもの石綿となる。

2.3 JIS A 1481 による建材製品中の石綿含有率測定方法手順

石綿含有建材等の石綿含有率測定は, 図 2.1 の手順に従って実施する。

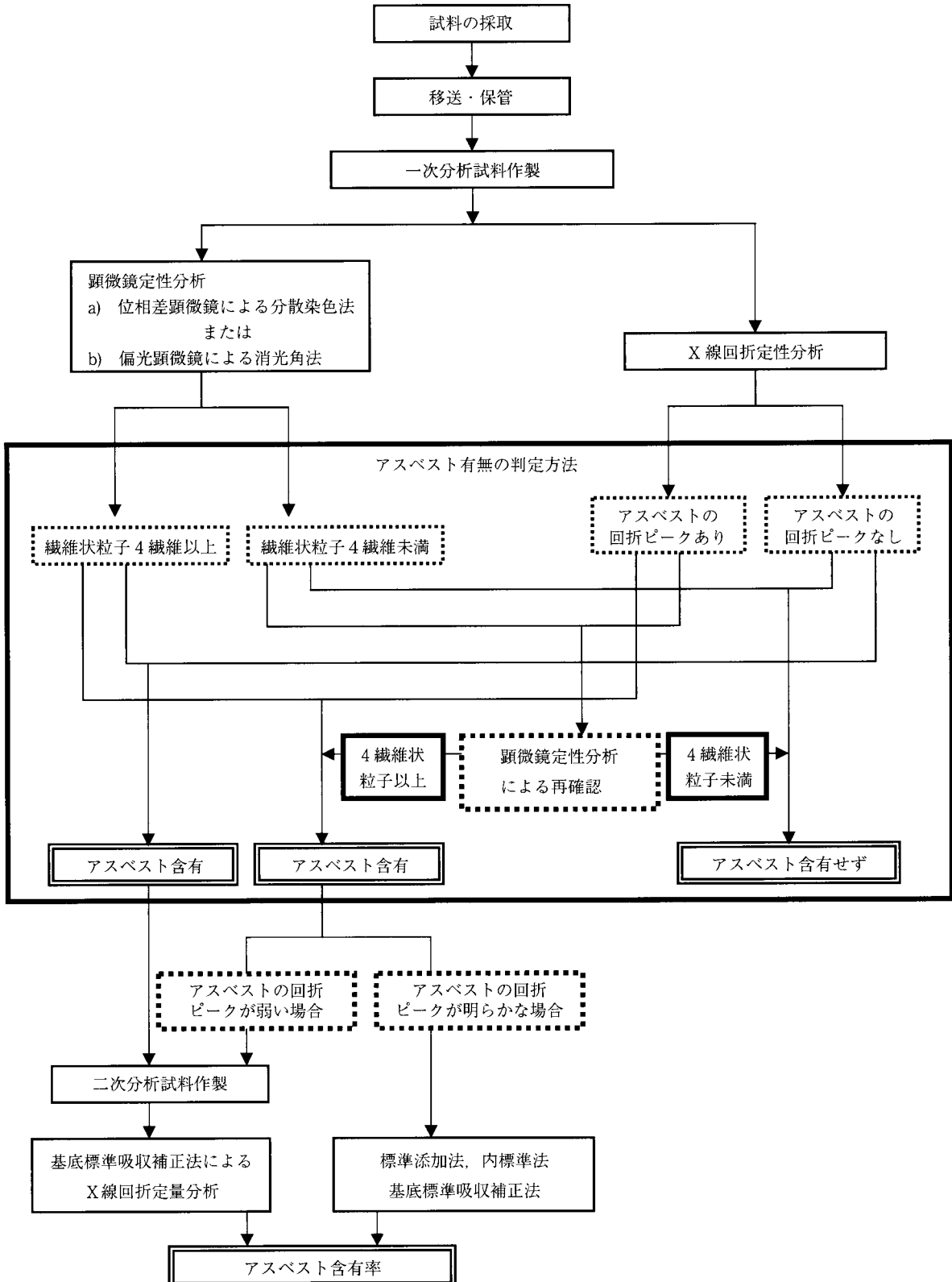


図 2.1 建材製品中のアスベスト含有率分析手順

分析対象の建材等から適切な量の試料を採取し、当該建材の形状や共存物質によって研削、粉碎、加熱等の処理を行った後、分析用試料を調製する。次に、分析用試料に石綿が含有しているか否かについて、位相差顕微鏡を使用して分散染色分析法による定性分析およびX線回折分析法による定性分析を実施し、石綿の存在を確認する。石綿の存在が確認された試料はぎ酸で処理して定量分析用の試料を調製し、基底標準吸収補正法によるX線回折分析法により定量分析を行い、石綿含有量を求め、石綿含有率を算出する。

2.4 石綿含有率測定の概要

2.4.1 試料の採取

1) 図2.2～2.3の試料採取位置を参考にして試料を採取する。

現場から試料を採取する場合は、粉じんの飛散に留意し、鋭利なカッターなどを用いて

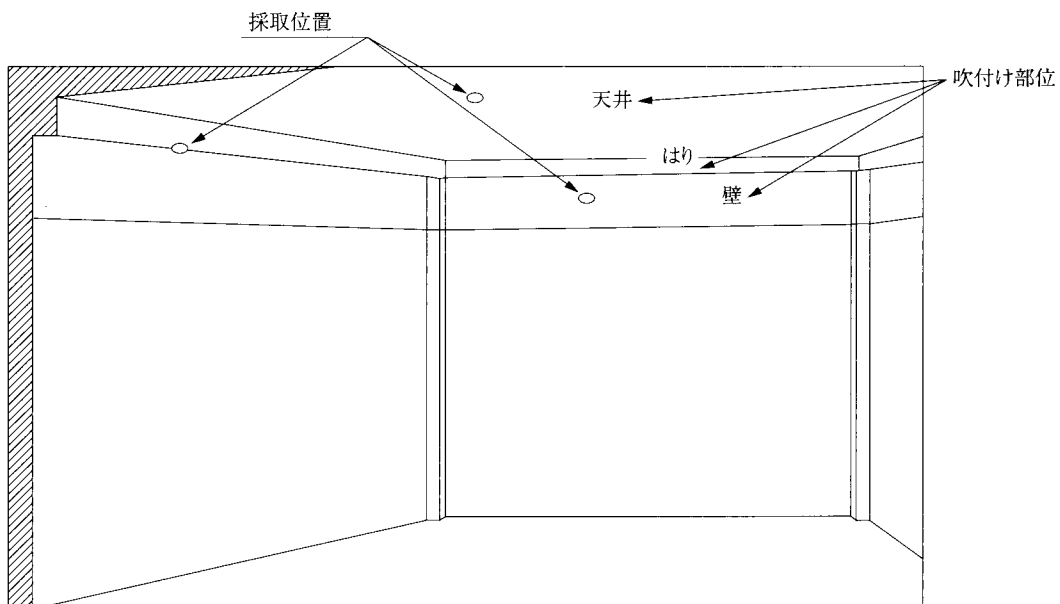


図2.2 天井、壁における採取位置の例

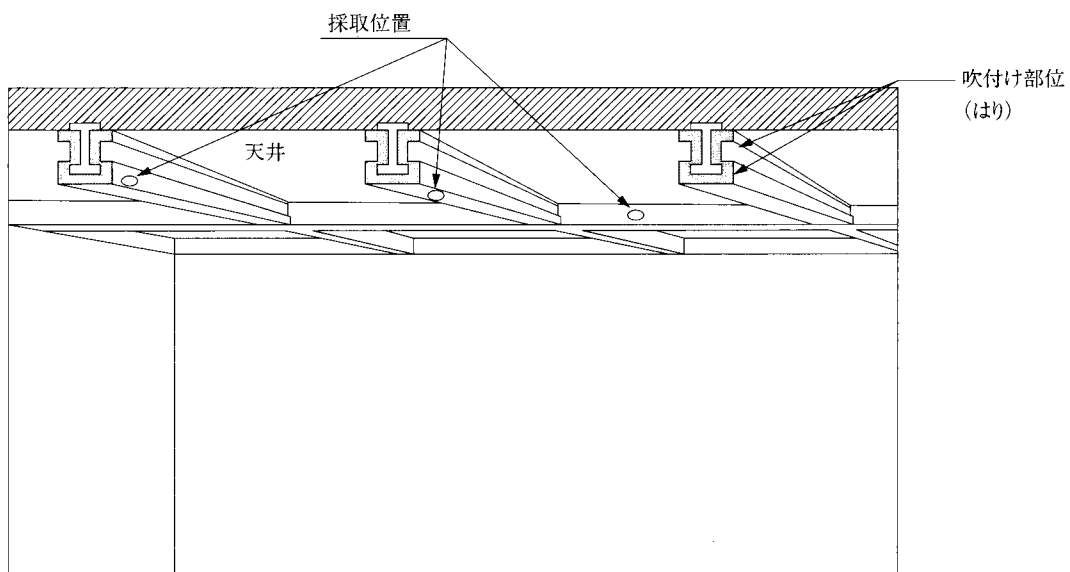


図2.3 耐火被覆された鉄骨における採取位置の例

行う。吹付け材や保温材のような柔らかな材料の場合は、1カ所あたり10cm³程度で3カ所から採取する。成形された建材の場合は、1カ所あたり100cm²で3カ所から採取する。

2) 採取した試料は粉じんの飛散に留意して密封できる容器に入れて必要事項を記載し、保管・搬送する。

2.4.2 分析用試料の調製

(1) 無機成分試料の場合

採取した試料を適量粉砕器に入れて十分に粉砕した後、目開き425～500μmの篩いを通して篩い分けし、すべての試料が篩い下になるまで粉砕と篩い分けの操作を繰り返して行い分析用試料とする。成形された建材試料の場合は、カッターナイフやボードサンダー等で側面を削りとった試料を粉砕器に入れる。

(2) 有機成分試料の場合

試料の適量を磁性るつぽに入れ、450℃±10℃に設定した電気炉に入れ、1時間以上加熱後清浄な状態で放冷するか低温灰化装置を用いて有機成分を灰化した後粉砕器に入れ、2.4.2(1)に従って調製し、分析用試料とする。

2.4.3 定性分析方法

(1) 位相差顕微鏡を使用した分散染色分析法による定性分析

1) 標本の作製方法

容量50mlの共栓試験管に分析用試料10～20mgと無じん水40mlを入れ、激しく振とうした後、容量50mlのコニカルビーカーに移し、回転子をいれ、マグネチックスターラーでかく拌しながら清拭した3枚のスライドグラス上にそれぞれマイクロピペッターで10～20μl滴下し乾燥する。

次に、屈折率 $n_D^{25^\circ}$ = 1.550, 1.680, 1.700の3種類の浸液をそれぞれのスライドグラス上のガイド内に3～4滴滴下し、ホットプレート上で乾燥後、滴下用ガイドをはずして、その上に清拭したカバーグラスを載せて標本とし、試料No., 浸液の屈折率をそれぞれ記載しておく。このようにして作製した3枚のスライドグラスを1標本とし、同様の操作を3回繰り返して、1分析用試料について3標本を作製する。

2) 位相差顕微鏡を使用した分散染色分析法による定性分析

作製した標本を位相差・分散顕微鏡のステージに載せ、接眼レンズの倍率10倍、分散対物レンズの倍率40倍で、接眼レンズのアイピースグレーティクルの直径100μmの円内に存在するすべての粒子数と分散色を示したアスペクト比3以上の繊維数を計数し、その合計粒子数が1000粒子になるまでランダムに視野を移動して計数し、分散色を示した繊維の種類と繊維数を記録する。アイピースグレーティクルの直径100μmの円の境界に掛かる粒子の取り扱いは「作業環境測定ガイドブック No. 1」に準じる。

3) 石綿の分散色

石綿の種類	浸液の屈折率 ($n_D^{25^\circ}$)	分散色
クリソタイル	1.550	赤紫色—青色
アモサイト	1.680	桃色
	1.700	青色
クロシドライト	1.680	橙色
	1.700	青色

(2) X線回折分析法による定性分析

分析用試料を一定量試料ホルダーに充填しX線回折分析装置にセットし、X線対陰極：銅(Cu), 管電圧：40kV, 管電流：30～40mAで回転試料台を使用して、 $2\theta = 5^\circ \sim 70^\circ$ の範囲のX線回折

パターンをフルスケール：1000～2000cpsで測定し、得られたX線回折パターンの回折線ピークに石綿の回折線ピークが認められるか否かを確認する。

(3) 石綿含有の有無の判定方法

- 1) 位相差顕微鏡を使用した分散染色分析法による定性分析の結果、3つの標本で計数した合計3000粒子中、石綿繊維が4繊維以上あり、かつ、X線回折分析法による定性分析の結果、1つの分析用試料でも石綿の回折線ピークが認められた場合は「石綿含有試料」と判定する。
- 2) 位相差顕微鏡を使用した分散染色分析法による定性分析の結果、3つの標本で計数した合計3000粒子中、石綿繊維が4繊維以上あり、かつ、X線回折分析法による定性分析の結果、3つの分析用試料のいずれも石綿の回折線ピークが認められない場合は「石綿含有試料」と判定する。
- 3) 位相差顕微鏡を使用した分散染色分析法による定性分析の結果、3つの標本で計数した合計3000粒子中、石綿繊維が4繊維未満で、かつ、X線回折分析法による定性分析の結果、1つの分析用試料でも石綿の回折線ピークが認められた場合は、2.4.3(1)の位相差顕微鏡を使用した分散染色法により、浸液の屈折率を変えて再度定性分析を行う。再分析の結果、石綿繊維が認められない場合は「石綿含有せず」と判定する。

※ 石綿以外の天然の鉱物繊維の屈折率は、繊維状石膏（ギプサム）が1.52～1.53、セピオライトが1.49～1.53、ウォラストナイトが1.62～1.66、アタパルジャイトが1.50～1.56、ハロサイトが1.53～1.54、モルデナイト（ゼオライト）が1.47～1.49等があり、人造鉱物繊維の屈折率は、グラスウール、ガラス長繊維が1.56以下、ロックウール、スラグウールが1.56以上であり、これらの屈折率に対応した浸液を使用して分散色を確認することができる。その他、X線回折分析法による定性分析の結果、クリソタイルのピークが認められた場合には、1.566でアンチゴライト、1.552でリザルタイトを確認する。

- 4) 位相差顕微鏡を使用した分散染色分析法による定性分析の結果、3つの標本で計数した合計3000粒子中石綿繊維が4繊維未満で、かつ、X線回折分析法による定性分析の結果、3つの分析用試料のいずれも石綿の回折線ピークが認められない場合は「石綿含有せず」と判定する。

2.4.4 X線回折分析法による定量分析

2.4.3の(3)で石綿含有が認められた試料について、基底標準吸収補正法によるX線回折分析法により定量分析を行い、石綿含有量を求め、石綿含有率を算出する。

定性分析の回折線ピークから、分析対象の石綿含有率が5%以上であることが予想される場合には、以下の処理を行わず、標準添加法、内標準法、基底標準吸収補正法により定量分析を行う。

(1) 定量分析用試料の調製

定量分析に使用する直径25mmのふっ素樹脂バインダグラスファイバーフィルタ（以下フィルタという。）の質量および基底標準板のX線回折強度を計測しておく。

2.4.2で調製した分析用試料を100mg (M_1) 精秤してコニカルビーカーに入れ、20%のぎ酸を20ml、無じん水を40ml加えて、超音波洗浄器で1分間分散した後、 $30 \pm 1^\circ\text{C}$ に設定した恒温槽内に入れ、30秒かく拌、1分30秒静置の操作を6回繰り返してから、フィルタを装着した直径25mmのガラスフィルタベース付の吸引ろ過装置で吸引ろ過を行う。ろ過後のフィルタを取り出し、乾燥後、フィルタ上に捕集された試料の質量 (M_2) を求め、定量分析用試料とする。定量分析用試料の作製にあたっては、1分析用試料あたり3つの定量分析用試料を作製する。

(2) 検量線の作製

検量線の作製に使用する直径25mmのフィルタの質量および基底標準板のX線回折強度を計

測しておく。

分析対象の石綿標準試料を 0.1, 0.5, 1.0, 3.0, 5.0mg 精秤しコニカルビーカーに入れ、それぞれ 20% の硝酸を 0.02, 0.1, 0.2, 0.6, 1.0ml, 無じん水を 0.04, 0.2, 0.4, 1.2, 2.0ml 加えて超音波洗浄器で 1 分間分散した後、 $30 \pm 1^\circ\text{C}$ に設定した恒温槽内に入れ、30 秒かく拌、1 分 30 秒静置の操作を 6 回繰り返してから、フィルタを装着した直径 25mm のガラスフィルタベース付の吸引ろ過装で吸引ろ過を行う。ろ過後のフィルタを取り出し、乾燥後、フィルタ上に捕集された試料の質量を求め、検量線用試料とする。

作製したそれぞれの検量線試料を X 線回折分析装置の試料台に固定して、基底標準板と分析対象の石綿の X 線回折強度を計測し、基底標準吸収補正法によって検量線を作成する。

(3) 定量分析手順

2. 4. 4 の(1)で作製した定量分析用試料を X 線回折分析装置の試料台に固定して、検量線作成と同一の条件で基底標準板と分析対象の石綿の X 線回折強度を計測し、基底標準吸収補正法によって 2. 4. 4 の(2)で作製した検量線から当該石綿の質量 (A_s) を算出し、次式により石綿含有率を求める。ただし、残渣率 (M_2/M_1) が 0.15 以下について適用する。

$$C_i = A_s/M_1 \times 100$$

$$C = (C_1 + C_2 + C_3)/3$$

ここに、 C_i : 1 つの定量分析用試料の石綿含有率 (%)

A_s : 検量線から読み取った定量分析用試料中の石綿質量 (mg)

M_1 : 分析用試料の秤量値 (mg)

C : 分析対象試料の石綿含有率 (%)

※ 残渣率が 0.15 以下にならない場合には、硝酸処理の回数を増やす、分析用試料の量を少なくする等を考慮する。

(4) 検量線から求めた検出下限および定量下限

検量線用最小試料を X 線回折分析装置の試料台に固定して、検量線作成と同一の条件で基底標準板と分析対象の石綿の X 線回折強度を繰り返して 10 回計測し、積分 X 線強度の標準偏差 (σ) を求め、次式により石綿含有率の検出下限と定量下限を算出する。

$$C_k = \{(3\sigma/a)/M_1\} \times 100$$

$$C_t = \{(10\sigma/a)/M_1\} \times 100$$

ここに、 a : 検量線の傾き

M_1 : 分析用試料の秤量値 (100mg)

C_k : 石綿含有率の検出下限 (%)

C_t : 石綿含有率の定量下限 (%)

最後に、米国マックローン社のアスベスト用の浸液セット (HD-6-80) を使用した場合の分散色の色調の例を図 2. 4 ~ 2. 9 に示す。

2. 5 分析機関の名称と連絡先

分析機関の名称と連絡先についての最新の情報は、(社)日本作業環境測定協会のホームページ (<http://www.jawe.or.jp/>) 上で確認されたい。